

道徳通信

愛西市立八開中学校
第1学年
令和3年6月17日
No. 8

「異なる文化の人と共に生きるために大切なことは何か」

～道徳「異文化の人々と共に生きる」を通して考えました～

次の二つの話から共に生きることについて考えました。

①フランスの学校に通う雅史が、フランス風にアレンジされた寿司を「おもしろいね」と言ったところ、その見方に賛成する生徒と反対する生徒で議論になった話。

②洋子の住んでいるマンションで、外国人の住民たちがパーティーを開いて大声で話したり、ごみの分別をしなかったりと、日本人の住民と対立するようになった話。

マナーやルール、考え方の違いがあることを知り、どちらか一方が我慢するのではダメだと気づきました。グローバル化が進む社会において、異文化の人とも、お互いが納得して生活していく方法を考えていきたいという気持ちをもつことができました。

●● ●●くん

ルールやマナーなどで口論になることがあるから、他の国のことを知っていれば損することはない。

●● ●●くん

これからは外国人がいたときにルールを守っていなかったり、迷惑をかけていたりしてもちよつとはその国のルールだと思うから大目に見ようと思った。

●● ●●くん

どうしても国の文化は違うのでマナーを守れない時もあると思う。文化を知ろうとしている人を助けたりやさしく接したりしたいと思った。

●● ●●くん

文化が違うから1～2回ぐらいためしてみたり、理解して、慣れるまで待ってあげたり教えてあげたりしたい。

●● ●●さん

「相手の気持ちも考える」や、「助け合う」などは、外国人などに対してだけでなく、日本人同士でも大切なことで、「外国人だから」「日本人だから」とかで区別せず、同じ人間だから理解しあえるようになりたい。

●● ●●さん

今は国際社会だし、オリンピックもあるから日本の印象が悪くならないように、やさしく分かりやすく教えてあげるし、逆に相手の文化も学べるから一石二鳥になるし、いいと思った。

●● ●●くん

助けるという意見の人はやさしいと思った。爽心くんが「ゲームとかで下手だったら追い出すって言うてるようなもんじゃん。」と言ったけどそれは違って、事故とかけがになるからっていうこっちの優しさもあった。両方の気持ちを考えられた。

●● ●●さん

日本人も外国人もお互いさまだと私は思いました。なぜかというと、日本人が外国に行ったら外国のルールが分からない。外国人が日本に行ったら日本のルールが分からない。だから私はお互いさまだと思いました。お互いにルールを教えてあげるといいと思います。

●● ●●さん

ほかの国の文化を考えたことがなかったから、話を聞いていて、いろいろな考えが思いつきました。ルールがあるのは大切だと思います。ルールを守ることが、なんのためになるか、どうなるかを考えたことがなかったけど、考えたいと思います。

●● ●●さん

お互いに相手の意見も尊重しつつ、自国のルールを伝えること、お互いの国のマナーを教え合うことが大切だと思いました。自分のことだけでなく周りのことも考えられるようになりたいです。